

超行動派。 横浜市議員(旭区選出) 民権フォーラム横浜市議員団所属

2019年 3月下旬号

# こがゆ康弘 市政報告

連絡先: 〒241-0821 旭区二俣川 1-5 (こがゆ康弘事務所) ホームページは [こがゆ](http://www.kogayu.net) 検索

TEL/FAX: 045-366-9381 メール: [info@kogayu.net](mailto:info@kogayu.net) <http://www.kogayu.net>

## 横浜市政 主要課題の現状と対応策(その4)

### 狭あい道路

ご自宅の周りや通勤・通学路に幅の狭い道路はありませんか? いわゆる「狭あい道路」とは、幅員4m未満の道路で、一般の交通の用に供される道路を指します。狭あい道路は、私たちが日常生活

を営むうえで、通行上、環境衛生上の問題があるばかりでなく、地震や火災などの災害時には消防、救急活動に支障をきたしてしまいます。横浜市では地域の安全性や利便性を考慮した生活道路ネットワーク形成のため、狭あい道路の「整備を促進する路線」を設定しています。旭区は横浜18区中この「整備促進路線」が最も長く(片側換算で124.42km)なかなか整備が進んでいません。

平成27年度から今年2月までの旭区における整備距離は3.09kmであり、平均すると年間約800メートル程度です。これでは旭区全体の促進路線を整備するにはまだ100年以上かかる計算となります。平成29年には、議員提案により交差点に接している角地のすみ切り部分と後退部分の買い取りが制度化されましたが、現在に至るまでまだ実績はありません。

#### 狭あい道路拡幅事業の課題

横浜市では各種補助金を用意し、整備促進に向けた施策を展開していますが、以下の課題があります。

- 自宅の建て替えなどのタイミングでなければセットバック(後退)されないため、交差点間の道幅が広がるまで長い年月を要する。
- せっかく後退しても土地の所有権は変わらないので駐車場にしたりプランターなどを置いたりしてしまい、道路として使えない。
- 交差点間的一部分が広がっても道路全体が広がらないため、結局通りやすくない。
- 自宅の敷地面積が狭くなってしまうのを嫌がり、買い取りに応じない。また、境界線の確認など手続きが煩雑で時間がかかる。

#### こがゆ康弘が主張する課題への対応策

課題解決のため、今後は以下の対策が必要です。

- 建て替えを促進するために不動産売買の活性化策や、老朽建物(空き家を含む)の建て替え支援策の拡充。
- 横浜市がセットバック部分の買い取りをしやすくするための測量費補助や予算の拡充、及び手続きの簡素化。
- セットバックした部分を敷地面積に含めたり、促進路線に面している家屋の容積率を緩和するなど法律や規制の見直しを国に要求。
- 部分的に広がるのを防ぐため、交差点間の一体的な拡幅(路線型拡幅事業)により早期に事業化を図る。

※こがゆ康弘はこれからも安全・安心な道路環境の整備に取り組みます。



#### 「狭あい道路」改善のための 横浜市の主な補助メニュー

- ① 後退用地等の舗装
- ② 整備支障物件(壁・門扉・門柱など)の除去と移設
- ③ 擁壁の除去・築造
- ④ 道路状整備(側溝の移設)
- ⑤ 電柱移設奨励金



狭あい道路改修は協議から補助金 支払いまで多くの手続きが必要!


# 特集「ことがゆ康弘の約束」を検証する!

平成27年の横浜市議員選挙において **ことがゆ康弘** は市民の皆様に対し、平成30年度までの実現を目指し全力で取り組む具体的政策として3つの柱12の項目(達成目標)を掲げています。市議員としての任期である4年間で何を指し、何を達成するのかを明確にして、その個別政策についての進捗状況の評価と検証を行い、区民ニーズに応え、議会そして地方議員に対する市民の皆様への信頼に応えていきたいと、ことがゆ康弘は考えています。選挙から約4年が経過し、任期満了に近い現時点での検証を行いました。

## 「ことがゆ康弘の約束」自己評価表(目標達成=A、目標は未達も進捗=B、努力が必要=C)

項目	達成目標	平成31年3月の状況(4年間の成果)	評価
子育て・就労支援 高齢者福祉	看護型を含む小規模多機能型介護施設を区内で新たに <b>5か所</b> 整備(現状7か所)	万騎が原地域に小規模多機能型介護施設を新設、その他、通所介護事業所等は新たに <b>35か所開設!</b>	B
	保育所待機児童 <b>ゼロ</b> の継続と保育カウンセラーを計 <b>4人</b> 配置し、身近な子育てを支援	昨年4月の待機児童(新定義)は4人に。(旧定義では <b>ゼロを継続!</b> ) 保育相談は、コンシェルジュ、母子保健コーディネーター、育児支援担当保育士併せて <b>5人に!</b>	A
	在宅医療連携拠点での相談件数を <b>200件</b> 以上に。地域医療の充実で健康寿命の向上	旭区在宅医療相談室(二俣川)での新規相談件数は <b>826件に!</b> 各ケアプラで地域医療連絡会を <b>継続!</b>	A
	区役所内のジョブスポットでの生活困窮者等への就労支援の実績を <b>200件</b> 以上に	ジョブスポット旭での就労支援は開設以来 <b>1073人</b> が <b>利用!</b> うち <b>626人</b> の就職が決定しました!	A
交通便利性向上・環境保全 防犯・防災	大規模災害を想定した地域防災力の強化と管理不全な空き家 <b>20件</b> 以上に対応	地域防災拠点の機能強化を実施済。管理不全な空き家の対応件数は <b>194件に!</b> うち <b>61件</b> が <b>解決!</b>	A
	道幅の狭い道路(狭あい道路)や歩きにくい歩道を区内で <b>10km</b> 以上改善・補修	4年間の狭あい道路拡幅整備実績は、 <b>3.09km</b> に。歩道整備は <b>1.86km</b> 。合計 <b>4.95km</b> を改善!	B
	コミュニティーバス・乗合タクシーなど地域交通を区内の新たな地域で <b>実現</b>	区の補助金を用いて「 <b>左近山おでかけワゴン</b> 」が昨年4月に <b>運行開始!</b> 上白根・希望が丘地区でも検討中!	A
	公共建築物へ太陽光発電システムを新たに <b>2か所</b> 設置するとともに屋上緑化等を推進	新たに笹野台地域ケアプラザと旧若葉台西中学校の <b>2か所</b> に太陽光発電システムを導入!	A
都市整備 議会改革	神奈川東部方面線の開業と横浜環状鉄道を国の交通政策審議会答申へ <b>位置付け</b>	相鉄・JR直通線は <b>H31中に開業予定!</b> 中山-二俣川-東戸塚~の横浜環状鉄道は <b>答申への位置付け決定!</b>	A
	<b>二俣川駅南口再開発</b> の計画的な施工と都市計画道路の整備で駅周辺の機能強化	二俣川駅南口は <b>昨年オープン!</b> 鴨居上飯田線の本宿二俣川地区は <b>平成34年度中の完成</b> を目標に工事中。	A
	高齢者が気軽に立寄り交流できる拠点を <b>3か所</b> 新設。郊外住宅団地の再生・活性化を実現	若葉台と今宿南町に地域交流拠点を新設。 <b>合計6か所</b> に。区内3か所の大規模団地で <b>再生支援</b> を継続中!	B
	議会の <b>災害対応力強化</b> と政務活動費等の公金の使い道をさらに <b>透明化</b>	横浜市会の災害時業務継続計画(BCP)を <b>整備!</b> 市会フェイスブック開設で <b>情報公開</b> が進展。	B


評価の結果、**12項目中8項目で目標を達成**することができました。B評価となった項目についても、今後の旭区に必要な施策ですので、引き続き、実現に向けて取り組んでまいります。ことがゆ康弘は抽象的な政策ではなく、今地域が抱える課題は何かをとらえ、市民の皆様へ定量的かつ期限を切って達成目標を示し、その約束を実現するために4年間、努力します。今後もより良い市政の実現に鋭意取り組んでまいります。



**横浜市議員 (旭区選出) ことがゆ康弘** プロフィール

昭和42年鶴見区生まれ。早稲田大学大学院卒業後13年間の民間企業勤務を経て、横浜市議員に。2006年初当選(現在4期目)  
【2018年度】  
常任委員会: こども青少年・教育委員会(副委員長)  
特別委員会: 健康づくり・スポーツ推進  
国民民主党神奈川県第6区総支部代表

小さなことでも気軽に  
ご相談下さい!  
"地域の声"が活動の源です!



連絡先: 〒241-0821 旭区二俣川1-5(事務所)  
TEL/FAX: 045-366-9381  
メール: info@kogayu.net  
http://www.kogayu.net

facebook FACE BOOKのウェブから「ことがゆ康弘」で検索

ことがゆ 🔍 検索